

平成20年度 第1回成果発表会

広域的情報共有と応援体制の確立【目黒チーム】

# 広域的情報共有環境の実現のために

東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

# チーム紹介

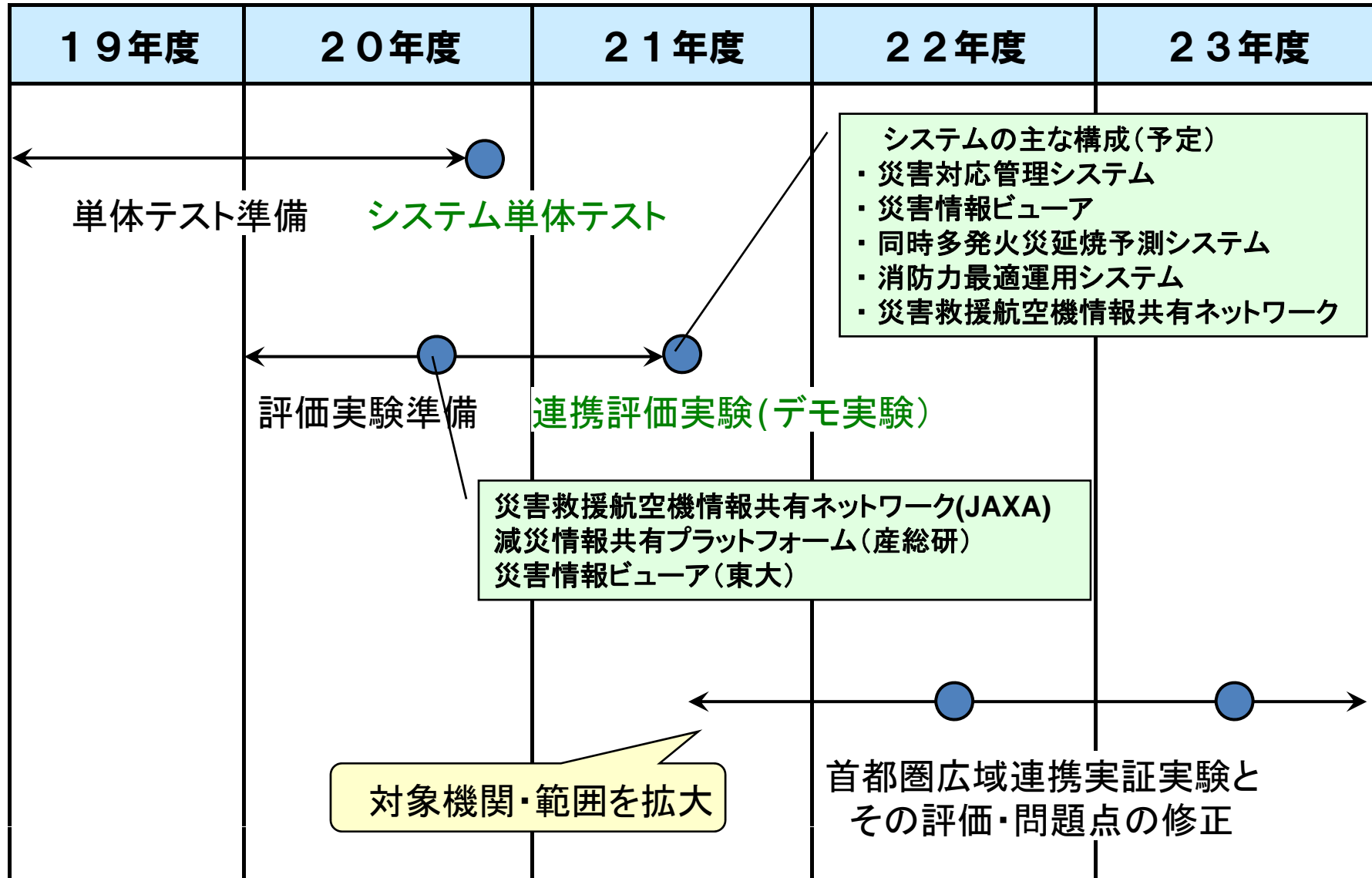
## 主な研究参画機関

- 東京大学生産技術研究所
- 消防庁消防研究センター
- 山梨大学
- 産業技術総合研究所
- 東京大学
- 宇宙航空研究開発機構（JAXA）

# 広域的情報共有と応援体制の確立

- (a) 広域連携体制の構築とその効果の検証  
(東京大学生産技術研究所)
- (b) 広域連携のための情報コンテンツの構築  
(山梨大学)
- (c) 情報システム連携の枠組み構築  
(産業技術総合研究所)
- (d) 広域連携システムのための汎用災害情報  
ビューアの構築 (東京大学)

# デモ実験実施計画



# 広域連携システムの評価実験

想定する状況：首都直下地震(川崎直下)による災害への対応

- ・建物倒壊
- ・市街地同時多発火災



緊急消防援助隊

連携を支援する情報を共有(案)

## 道路交通

- ・道路規制
- ・緊急交通路
- ・緊急輸送路
- ・道路啓開状況

## 火災

- ・火災状況
- ・消防力配備
- ・避難指示

## 建物被害

- ・道路閉塞状況

道路規制		
路線名	区間	規制理由
国道15号	鶴見橋付近	橋梁点検

## へり運航支援

- ・機体番号
- ・緯度・経度
- ・速度・方位

緊急交通路 指定路線		
路線名	指定時刻	解除時刻
東名高速	07/11/01 10:05	未定
国道1号	07/11/01 10:05	未定

→ 情報共有の効果の評価・検証

# 評価実験（デモ）の概要

## 1. 評価実験の実施時期

- 平成21年6月～7月頃を予定

## 2. 評価実験の目的

- 3県市（神奈川県、横浜市、川崎市）を主な対象に、広域連携をテーマとして情報共有による効果を検証する
- 「実際に動作するモノ」を提示する

## 3. 実験で取り扱う内容（案）

- 同時多発火災
- 救急搬送
- 道路情報
- 航空機運航支援情報
- 帰宅困難者への情報提供

# 皆様へのお願い

## 1. 評価実験の実施場所

- 八都県市首都直下地震対策研究協議会での当チーム発表の一環として実施させてもらいたい。
- 実施場所については、「本会場（田町キャンパス・イノベーションセンター）」での実施を前提に検討するが、設備や準備等の問題から難しい場合には、「本会場」以外の実施を認めていただきたい。

## 2. 自治体の皆様へのお願い

- シナリオの作成やデータのご提供に加えて、実験の評価者としてご協力いただきたい。よろしく申し上げます。

# 発表の構成

## 報告1：「広域的情報共有環境の実現のために」

東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

### (1) 情報共有技術により、何が可能になるか

◆われわれの考える具体的な実現イメージ

### (2) グループ2の進捗状況

◆グループ会議

◆3年目の評価（デモ）実験に向けて調整

### (3) 研究紹介

◆高いポテンシャル

◆高い社会還元性

## 報告2：「情報共有システムを構成する個別システム のご紹介」

山梨大学大学院医学工学総合研究部 教授 鈴木猛康